平成２４年度 地すべり対策事業 再評価調書

事 業 名	地すべり対策事業	地区･路線名	東祖谷２期地区（ひがしいやにき）
事業主体	徳島県	関係市町村	三好市

事業概要

（事業目的）
本地区は、地すべり防止区域、栗枝渡、菅生上、若林、西山下からなる。
本地区の地質は、三波川帯に属する結晶片岩地帯で崩積土が厚く分布する。水理状況は起伏の少ない緩傾斜面であり、谷は未発達で表流水の多くは地下に再浸透し湧水も多い。地すべり移動状況は、台風時などに断続的活動がみられる。
このため、本地区内で地すべり対策事業を施行し、農地、農業用施設並びに周辺農家や公共施設等の被害を除却、または軽減し、国土の保全と安全で快適な生活環境の実現を図る。

（事業内容）
受益面積　149.8ha
受益戸数　103戸
主要工事　抑制工：排水路工 L=220m：承水路工 L=453m
：排水ボーリング工 L=5,190m
抑止工：土留工 2ヶ所
総事業費　214,400千円 （国50%，県50%　全体実施設計:国50%，県1/3，町1/6）
工　　期　平成18年度～平成27年度

評価項目

（事業の進捗状況）
平成23年度までに排水路工70m、承水路工100m、排水ボーリング工4,140m及び土留工１箇所を実施している。
平成24年度予算で排水路工50m、承水路工150m，排水ボーリング工200mを実施予定である。
平成24年度末までの進捗率は事業費ベースで76%である。

（関連事業の進捗状況）
該当なし。

（社会経済情勢の変化）
計画時点と比較し，基本的に農地面積，営農状況等の変化がなく，また，地すべり現象もみられることから，引き続き本事業による地すべり対策が必要である。

（計画上重要な部分の変更の必要性の有無）
該当なし。

（事業効果の発現状況）
排水ボーリング工，承水路工及び排水路工の施工により、地山の浸食、地下水の浸透を防止し、斜面崩壊の危険性を軽減することが出来ている。
投資効率＝総事業効果額／総事業費＝９．５０

（受益農家、関係機関の意向）
三好市及び地元は，事業の早期完成を強く要望している。

（事業の実施方針）
継続して事業を実施する。